

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	健康づくりと介護予防の推進
------	---------------

現状と課題			
(1) 健康づくり・生活習慣病予防の推進 (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進 (3) 社会参加の促進 (4) 生涯学習の推進 (5) 雇用・就労対策の推進			
第9期における具体的な取組			
(1) 健康づくり意識の醸成、生活習慣病予防の推進、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 (2) 介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業 (3) 地域における世代間交流の促進、福祉活動への参加の促進、ふれあいサロン活動支援、老人クラブ・通いの場等の地域活動の運営支援、日常生活におけるデジタル活用の促進 (4) 多様なニーズへの対応、生涯スポーツの推進、生涯学習情報のネットワーク化 (5) シルバー人材センターへの運営支援			
目標（事業内容、指標等）			
項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
やわた未来いきいき健幸プロジェクト参加者数（人）	5,000	5,000	5,000
健幸アンバサダー養成事業の養成者数（人）	750	850	950
元気アップ体操教室延参加者数（人）	4,000	4,500	5,000
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のハイリスクアプローチ延支援件数（件）	370	380	390
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のポピュレーションアプローチ延支援件数（件）	650	700	750
訪問型サービスB延利用回数（回）	180	200	220
訪問型サービスB延利用回数（人）	340	360	380
通所型サービスC延参加者数（人）	1,060	1,070	1,080
介護支援サポーター登録者数（人）	105	110	115
通所リハビリテーション（短時間（1時間以上2時間未満））算定件数（件）	2,020	2,040	2,060

目標の評価方法

- 時点
 - ☐ 中間見直しあり
 - ☒ 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う。

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和 6 年度
----	---------

実施内容																							
	<table> <tr> <th>項 目</th><th>令和 6 年度</th></tr> <tr> <td>やわた未来いきいき健幸プロジェクト参加者数（人）</td><td>4,903</td></tr> <tr> <td>健幸アンバサダー養成事業の養成者数（人）</td><td>441</td></tr> <tr> <td>元気アップ体操教室延参加者数（人）</td><td>3,583</td></tr> <tr> <td>高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のハイリスクアプローチ延支援件数（件）</td><td>541</td></tr> <tr> <td>高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のポピュレーションアプローチ延支援件数（件）</td><td>834</td></tr> <tr> <td>訪問型サービス B 延利用回数（回）</td><td>90</td></tr> <tr> <td>通所型サービス B 延参加者数（人）</td><td>325</td></tr> <tr> <td>通所型サービス C 延参加者数（人）</td><td>1,296</td></tr> <tr> <td>介護支援サポーター登録者数（人）</td><td>100</td></tr> <tr> <td>通所リハビリテーション（短時間（1 時間以上 2 時間未満））算定件数（件）</td><td>1,935</td></tr> </table>	項 目	令和 6 年度	やわた未来いきいき健幸プロジェクト参加者数（人）	4,903	健幸アンバサダー養成事業の養成者数（人）	441	元気アップ体操教室延参加者数（人）	3,583	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のハイリスクアプローチ延支援件数（件）	541	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のポピュレーションアプローチ延支援件数（件）	834	訪問型サービス B 延利用回数（回）	90	通所型サービス B 延参加者数（人）	325	通所型サービス C 延参加者数（人）	1,296	介護支援サポーター登録者数（人）	100	通所リハビリテーション（短時間（1 時間以上 2 時間未満））算定件数（件）	1,935
項 目	令和 6 年度																						
やわた未来いきいき健幸プロジェクト参加者数（人）	4,903																						
健幸アンバサダー養成事業の養成者数（人）	441																						
元気アップ体操教室延参加者数（人）	3,583																						
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のハイリスクアプローチ延支援件数（件）	541																						
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のポピュレーションアプローチ延支援件数（件）	834																						
訪問型サービス B 延利用回数（回）	90																						
通所型サービス B 延参加者数（人）	325																						
通所型サービス C 延参加者数（人）	1,296																						
介護支援サポーター登録者数（人）	100																						
通所リハビリテーション（短時間（1 時間以上 2 時間未満））算定件数（件）	1,935																						
自己評価結果																							
・ やわた未来いきいき健幸プロジェクト事業の参加者は増加し、目標の近似値となっている。 ・ 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のハイリスクアプローチ延支援件数、ポピュレーションアプローチ延支援件数ともに目標値を達成できた。 ・ 訪問型サービス B 延利用回数については、利用実人数が半分に減少したため、回数も減少となった。 ・ 通所型サービス C 延参加者数については、令和 6 年度より 3 クールから 4 クールに回数が増え、延参加者数が増加となった。																							
課題と対応策																							
・ 健康寿命を延伸するためには、日頃からの健康づくりなど介護予防を意識した取組みが重要であるため、個人の健康に対する健康管理意識を育てるとともに、健康づくりやフレイル予防に関する正しい知識の普及啓発を継続して行う必要がある。 ・ 訪問型サービス B や通所型サービス B について、地域住民が主体となり地域に根差したサービス内容について、検討・拡充が必要である。																							

- ・ 多様なサービスを充実させるために、生活支援体制整備事業の協議体を通して地域の担い手の発掘を促進する。
- ・ 高齢者同士だけでなく、「通いの場」等、多世代間交流の促進を支援し、引きこもりを防止するとともに、住民交流を図り、地域に根差した取り組みを促進する。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	地域包括ケアの深化・推進
------	--------------

現状と課題																				
(1) 相談支援体制の強化・相談窓口の周知 (2) 地域福祉ネットワーク活動の推進 (3) 医療と介護の連携強化 (4) 家族介護者への支援																				
第9期における具体的な取組																				
(1) ほっとあんしんネット（地域包括支援センター）の機能強化、介護支援専門員の相談機能の強化、地域ケア会議の推進、包括的・継続的ケアマネジメント事業、多職種の連携、相談窓口の連携、情報提供機能の充実、苦情処理体制の強化 (2) 社会福祉協議会による地域福祉活動の充実、民生・児童委員活動の促進、福祉委員会活動の促進、多様な主体による助け合い・支え合い活動の推進 (3) 医療と介護の連携、在宅療養に関する情報収集と情報提供 (4) 家族介護者の交流、紙おむつ等助成、家族介護者慰労金助成、短期入所																				
目標（事業内容、指標等）																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほっとあんしんネット相談件数（件）</td><td>2,600</td><td>2,700</td><td>2,800</td></tr> <tr> <td>地域ケア会議開催回数（回）</td><td>25</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr> <td>多職種連携在宅療養支援協議会開催回数（回）</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>					項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	ほっとあんしんネット相談件数（件）	2,600	2,700	2,800	地域ケア会議開催回数（回）	25	25	25	多職種連携在宅療養支援協議会開催回数（回）	2	2	3
項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度																	
ほっとあんしんネット相談件数（件）	2,600	2,700	2,800																	
地域ケア会議開催回数（回）	25	25	25																	
多職種連携在宅療養支援協議会開催回数（回）	2	2	3																	
目標の評価方法																				
● 時点 ☐ 中間見直しあり ☒ 実績評価のみ ● 評価の方法 ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う																				

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和6年度
----	-------

実施内容									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>令和6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほっとあんしんネット相談件数（件）</td><td>2,548</td></tr> <tr> <td>地域ケア会議開催回数（回）</td><td>15</td></tr> <tr> <td>多職種連携在宅療養支援協議会開催回数（回）</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	項 目	令和6年度	ほっとあんしんネット相談件数（件）	2,548	地域ケア会議開催回数（回）	15	多職種連携在宅療養支援協議会開催回数（回）	2	
項 目	令和6年度								
ほっとあんしんネット相談件数（件）	2,548								
地域ケア会議開催回数（回）	15								
多職種連携在宅療養支援協議会開催回数（回）	2								
自己評価結果									
・ 令和6年度のほっとあんしんネット（地域包括支援センター）の相談件数が増加した。 ・ 八幡市地域包括支援センター連絡協議会や多職種連携在宅療養支援協議会が研修会等を開催し、各関係機関と連携を図り、相談機能の強化を行った。 ・ 市内全域を対象とした地域の活動に出向き、あんしんネットワーク活動の啓発・周知を行った。 ・ 困難事例等を抱え込まないように、地域ケア会議や多職種連携在宅療養支援会議を行い、専門性の向上に努めた。									
課題と対応策									
・ 住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい暮らしを続けられるように在宅サービスを一体的に提供するために必要な支援を継続して行う。 ・ 出前講座等でほっとあんしんネット（地域包括支援センター）の周知を行う。 ・ 質の高い業務を継続するために、他機関と連携強化を図るとともに、ほっとあんしんネット（地域包括支援センター）の周知・啓発を促進する。 ・ 医療・介護が必要となった高齢者が住み慣れた地域で最期まで自分らしい暮らしが続けられるよう「八幡市多職種連携を考える会」等を開催し、在宅サービスを一体的に提供するための支援を強化する。									

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	認知症施策の推進
------	----------

現状と課題

- (1) 認知症の予防・理解促進・支援の充実
- (2) 権利擁護の推進

第9期における具体的な取組

- (1) 認知症に関する知識の普及・啓発、認知症施策の推進、認知症高齢者及びその家族への支援、若い世代に対する福祉意識の醸成
- (2) 高齢者の権利擁護事業の推進

目標（事業内容、指標等）

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症サポーター養成講座受講者数（人）	90	100	110
八幡市あんしんネットワーク協力機関登録数（ヵ所）	120	122	124
認知症高齢者等 GPS 端末利用料補助金利用者数（人）	5	5	5
オレンジカフェの参加者数（人）	225	230	240

目標の評価方法

- 時点
 - ☐ 中間見直しあり
 - ☒ 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和6年度
----	-------

実施内容	
項 目	令和6年度
認知症サポーター養成講座受講者数（人）	98
八幡市あんしんネットワーク協力機関登録数（カ所）	117
認知症高齢者等GPS端末利用料補助金利用者数（人）	6
オレンジカフェの参加者数（人）	344
自己評価結果	
・ オレンジカフェの参加者数は目標値を達成し、年々増加傾向にある。 ・ 認知症サポーター養成講座修了者を対象に更なる認知症の理解促進のため、認知症サポーター養成講座ステップアップ講座を開催した。 ・ 認知症のご本人、ご家族、地域で支えるみなさんに想いを聞く場を設け、そこでお聞きした想いを冊子「おれんじのーと」にまとめた。 ・ 高齢者虐待案件についてはほっとあんしんネット（地域包括支援センター）と協議して関係機関と随時連携を行っている。	
課題と対応策	
・ 認知症の正しい知識・理解の促進のため、認知症事業の普及啓発を継続して行う。 ・ 小学生や中学生等の若い世代への認知症に関する理解の促進を今後、検討していく必要がある。 ・ 認知症初期集中支援推進事業では認知症サポート医と医療と介護が連携をし、認知症の方や認知症が疑われる方への支援を行っており、今後も早期診断・早期対応に向けた支援を進めていく。 ・ 高齢者虐待案件については、ほっとあんしんネット（地域包括支援センター）とコアメンバー会議を随時開催しており、京都府高齢者権利擁護センターと連携し、継続的な協議を行う。	

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	安心して暮らし続けられる生活環境の整備
------	---------------------

現状と課題																			
(1) 高齢者の住まい・住環境の整備 (2) 生活支援サービスの推進 (3) 防災・防犯・交通安全対策の推進 (4) 災害や感染症にかかる体制整備 (5) 高齢者虐待防止対策の推進																			
第9期における具体的な取組																			
(1) 高齢者の住まいに関する情報提供、高齢者を支える地域づくりの推進、福祉のまちづくりの推進 (2) 配食サービス、シルバーライフラインシステムの整備、日常生活用具給付等、軽度生活援助、寝具乾燥等サービス (3) 防災意識の啓発、防犯対策の推進、消費者啓発の推進と相談の充実、交通安全教室等の開催 (4) 災害発生時の避難体制の整備、感染症対策に係る体制整備 (5) 高齢者虐待に関する周知・啓発、高齢者虐待防止ネットワークの確立、被虐待者の保護																			
目標（事業内容、指標等）																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活支援体制整備協議体の会議開催回数（回）</td><td>8</td><td>10</td><td>12</td></tr> <tr> <td>配食サービス利用者延人数（人）</td><td>440</td><td>470</td><td>500</td></tr> <tr> <td>シルバーライフラインシステム利用者数（人）</td><td>380</td><td>390</td><td>400</td></tr> </tbody> </table>				項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	生活支援体制整備協議体の会議開催回数（回）	8	10	12	配食サービス利用者延人数（人）	440	470	500	シルバーライフラインシステム利用者数（人）	380	390	400
項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度																
生活支援体制整備協議体の会議開催回数（回）	8	10	12																
配食サービス利用者延人数（人）	440	470	500																
シルバーライフラインシステム利用者数（人）	380	390	400																
目標の評価方法																			
● 時点 ☐ 中間見直しあり ☒ 実績評価のみ ● 評価の方法 ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う																			

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和6年度
----	-------

実施内容									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>令和6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活支援体制整備協議体の会議開催回数（回）</td><td>13</td></tr> <tr> <td>配食サービス利用者延人数（人）</td><td>447</td></tr> <tr> <td>シルバーライフラインシステム利用者数（人）</td><td>349</td></tr> </tbody> </table>		項 目	令和6年度	生活支援体制整備協議体の会議開催回数（回）	13	配食サービス利用者延人数（人）	447	シルバーライフラインシステム利用者数（人）	349
項 目	令和6年度								
生活支援体制整備協議体の会議開催回数（回）	13								
配食サービス利用者延人数（人）	447								
シルバーライフラインシステム利用者数（人）	349								
自己評価結果									
・ 介護保険施設だけでなく、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホーム等、高齢者が多様な住まいを選択することができるようサービス事業者一覧表を作成し、情報提供を行った。 ・ 生活支援体制整備協議体の会議回数は増加しており、地域のニーズについての協議を実施した。 ・ 警察や交通安全協会、自治会組織、福祉委員会、民生・児童委員、老人クラブ等と連携して、高齢者を対象とした交通安全教室などを開催した。 ・ 市内の介護保険事業所等で感染症が発生した場合に備えて、介護保険事業所等に対する啓発や支援等を行った。									
課題と対応策									
・ 広報紙や市ホームページ等を活用したサービスの周知を行い、必要な方にサービスを利用してもらえるようにしていく。 ・ 各圏域の様々な機関や市民等に参加してもらい、地域のニーズにあった多様な生活支援サービスの継続的な検討が必要である。 ・ 地域住民相互の助け合いにより、災害時に救助活動が行えるように各関係機関と連携して地域の防災力の向上に努めていく。 ・ 介護保険事業所等で感染症が発生した場合に備えて、介護保険事業所等に対する啓発や支援等を行うとともに、未曾有の感染症拡大に備えて、医師会等との連携強化を行っていく。									

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	持続可能な介護保険制度の運営
------	----------------

現状と課題																											
(1) 介護保険サービスの提供体制の充実 (2) 介護サービスの質の向上と介護給付の適正化 (3) 福祉・介護人材の確保・育成・定着支援 (4) 業務効率化の取組の強化																											
第9期における具体的な取組																											
(1) 介護サービス情報の提供、利用者・介護者への支援の充実 (2) 介護支援専門員活動支援、要介護認定への取組、サービスに関する相談・苦情体制の強化、事業者への支援の充実 (3) 福祉・介護人材の確保及び定着促進 (4) 業務効率化の取組の強化																											
目標（事業内容、指標等）																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定調査状況チェック（件）</td><td>全件</td><td>全件</td><td>全件</td></tr> <tr> <td>ケアプラン点検件数（件）</td><td>25</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr> <td>住宅改修点検件数（写真確認）（件）</td><td>全件</td><td>全件</td><td>全件</td></tr> <tr> <td>住宅改修点検調査件数（件）</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr> <tr> <td>福祉用具貸与調査件数（件）</td><td>4</td><td>6</td><td>12</td></tr> </tbody> </table>				項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	認定調査状況チェック（件）	全件	全件	全件	ケアプラン点検件数（件）	25	25	25	住宅改修点検件数（写真確認）（件）	全件	全件	全件	住宅改修点検調査件数（件）	12	12	12	福祉用具貸与調査件数（件）	4	6	12
項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度																								
認定調査状況チェック（件）	全件	全件	全件																								
ケアプラン点検件数（件）	25	25	25																								
住宅改修点検件数（写真確認）（件）	全件	全件	全件																								
住宅改修点検調査件数（件）	12	12	12																								
福祉用具貸与調査件数（件）	4	6	12																								
目標の評価方法																											
● 時点 ☐ 中間見直しあり ☒ 実績評価のみ ● 評価の方法 ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う																											

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和 6 年度
----	---------

実施内容	
項 目	令和 6 年度
認定調査状況チェック（件）	コロナによる職権更新を除く全件
介護・福祉職場就職フェア開催回数（回）	1
ケアプラン点検件数（件）	26
住宅改修点検件数（写真確認）（件）	全件
住宅改修点検調査件数（件）	8
福祉用具貸与調査件数（件）	0
自己評価結果	
・ 介護サービス情報の提供、利用者・介護者への支援の充実を図るため、わかりやすい介護保険制度のパンフレット・事業所マップの作成・配布を実施した。 ・ 八幡市と八幡市老人福祉施設協議会が主催し、社会福祉法人京都府社会福祉協議会 福祉人材・研修センターの協力を得て、「八幡市介護・福祉職場就職フェア」を開催した。	
課題と対応策	
・ 既存事業者の規模拡大や新規事業者の参入の促進について、サービス供給体制を安定的に確保していくため、本市の要介護認定者数、サービス利用状況、今後の要介護等高齢者推計人口やサービス必要見込量を踏まえながら、引き続きサービス提供体制の充実を図る。 ・ 介護保険制度の円滑かつ安定的な運営を図るため、限られた財源を効果的に活用し、適正なサービスを真に必要な人に提供していく事業者の介護サービスの質の向上を目的とした自己評価や第三者による評価の取り組みが進むように、引き続き京都府と連携を図る。 ・ 介護現場での I C T、介護ロボットの導入など、業務効率化に対するニーズ等も含めた情報収集を行っていく。	